

# 第36回全国病児保育研究大会 in Hirosaki

## 開催案内

テーマ こどもの育ちの保証

—病児保育が果たすべき役割—



開催地 弘前市

会場 弘前文化センター

主催 一社) 全国病児保育協議会

会頭 荒井 宏治 病児保育室「きりん」(青森県)

期日 2026年7月19日、20日

令和4年1月吉日

## 第36回全国病児保育研究大会 in 弘前 開催のご案内

第36回全国病児保育研究大会 in 弘前

会頭 荒井 宏治

(あらいこどもクリニック / 眼科クリニック

病児保育室「きりん」)

### ご挨拶

第36回全国病児保育研究大会を、2026年7月19,20日に弘前で開催します。このような機会をいただけたことを大変嬉しく思い、協議会の皆様に感謝します。病児保育は、病気の子どもを一時的にお預かりする事業で、専門の保育士、看護師、医師が携わり病気の子どもたちにとって最適な環境でケアをし、子ども達の育ちの保証を提供しています。そのような病児保育は、最高の子育て支援と考えておりますが、保護者にとっては就労支援もあります。この大会では、子育て支援に関する専門知識やベストプラクティスの共有、最新の研究に基づく情報提供などを通じて、病児保育の質の向上を目指します。さらに参加者同士の交流やワークショップを設けることで、お互いの学びと共感を深める場を提供し、病児保育の未来に向かって取り組んでいきたいと考えております。

会場の弘前文化センターは、弘前城公園や弘前市役所、弘前大学医学部付属病院のそばで町の中心部にあります。しかし青森県は本州の最北端、その中でも弘前市は県の西部にあり、全国各地から来られるには決して利便性が高い場所ではありません。また地方都市は人口減少が著しく、都会から来られた方には市街商業施設の空洞化を感じることと思います。しかしそのような地域でも子どもやその家族は生活をしていて、我が子の健やかな育ちを願っています。その願いに子育てに携わる我々は応えて、子どもの育ちを保証しなければならないことに共感していただきたいと思います。このような地方都市にも飛行機や新幹線は整備されていて、全国のどこからでもその日の朝発てば、午後にはつくはずです。私たちは有意義な研究大会になるように準備を進めておりますので、多数の参加者がご来場いただけることを期待しております。皆様のお力添えやご協力が無ければ本大会は実現しません。どうか皆さまのご協力いただき、実りある会になりますようお力添えをいただけるように切にお願い申し上げます。本大会の成功に向けて、皆様と共に取り組んでいける事を楽しみにしております。

第36回全国病児保育研究大会会頭 荒井宏治

**2月10日（月）より**演題申込・事前参加登録の受付を開始します。別紙の募集要項等をご覧いただき、演題申込・参加登録を賜りますようお願い申し上げます。皆様方からの多数の応募・登録を心よりお待ち申し上げております。

**【大会テーマ】** こどもの育ちの保証 －病児保育が果たすべきこと－

**【会期】** 令和8年（2026年）7月19日（日）、20日（月・祝）

**【会場】** 弘前文化センター

〒036-8356 青森県弘前市下

白銀町1-4

TEL：0172-33-6571（代）

ホームページ：

<https://city.hirosaki.aomori.jp/gaiyou/shisetsu/bunkasenta-.html>

会場の最上階にはプラネタリウムがあり、昼間でも星空を見ながら休む  
ことができます。

**【会頭】** 荒井 宏治（あらいこどもクリニック／眼科クリニック  
病児保育室「きりん」）

**【実行委員長】** 山口 淑子（山口クリニック キッズケアルーム風船）

**【参加費と登録方法】**

6ページから12ページをご確認ください。

**【大会事務局】** あらいこどもクリニック／眼科クリニック 病児保育室「きりん」

〒036-8093 青森県弘前市城東中央4-2-8

FAX：0172-27-2010

E-mail：[36thbyouji@outlook.jp](mailto:36thbyouji@outlook.jp)

（ご連絡はできるだけE-mailでお願いします）

**【運営事務局】** 第36回全国病児保育研究大会 in 弘前

大会サポートデスク：山岸 小幡

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401

(株) プランドゥ・ジャパン内

TEL：03-5470-4401 / FAX: 03-5470-4410

E-mail：[hoiku2026@nta.co.jp](mailto:hoiku2026@nta.co.jp)

（ご連絡はできるだけE-mailでお願いします）

**【ホームページアドレス】**

<https://36thbyouji.com/>



## 一般演題募集要項

### 1：演題申込方法

**大会ホームページ上からのお申込となります。**  
**大会ホームページの「演題登録」ページから演題申込画面に入り、画面上の指示に従って必要事項・抄録本文を入力してください。**

- (1) 本大会の発表演題の演者・共同演者は協議会会員施設（施設会員）のスタッフまたは協議会個人会員のみです。  
非会員の方で演題登録を希望される場合、速やかに入会手続きをおこなってください。  
入会手続きは全国病児保育協議会ホームページをご確認の上、おこなってください。  
(入会のご案内ページ <https://byoujihoku.net/guidance>)
- (2) 発表形式は、  
発表は査読によって承認されます。そしてすべて口演発表で、ポスター発表の前での質疑応答もあります。応募状況により査読による内容によっては、誌面発表（プログラム・抄録集に抄録のみ掲載）とさせていただく場合があります。
- (3) 必要事項（演者名・所属名・連絡先・演題名）、抄録本文を全てご記入の上、登録をおこなってください。
- (4) 詳細は大会ホームページに掲載いたします。

### 2：抄録作成要領

演者名（抄録作成要領登録可能な共著者数（筆頭演者含む）：10名以内）、所属名（発表者、共著者とも、登録可能な施設数：10施設以内）、連絡先（氏名、所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、演題名（50字以内）、抄録本文（1,500字以内、外字・特殊文字不可、図・表添付不可）で作成してください。

### 3：演題募集カテゴリー

以下のカテゴリーから選択してください。

- (1) 感染症
- (2) 保育看護・遊び
- (3) 災害・安全・BCP・教育
- (4) 運営・地域連携・広域化・ICT
- (5) 医療的ケア・神経発達症・レスパイト
- (6) 虐待・貧困・社会問題・
- (7) 食育・健康支援・与薬
- (8) その他

※締め切り後、実行委員会による査読の際に採否・口演演題選定のほか、発表順やプログラム割りなどを決定いたします。

#### 4：発表形式

##### (1) 口頭発表について

- ・発表はすべて口演です。壇上には2人まで上がれます。
- ・口演発表時間は、発表8分、質疑2分を予定しています。
- ・壇上での質疑は1~2問だけで、残りはポスター前で質疑時間を設けます。
- ・口演については規定のパソコンを使用していただきます。
- ・ご用意できる環境はWindows 11及びパワーポイント 2021以上、あるいはマイクロソフト365となります。その他のWindows Mac・OHP・スライド映写機は使用できません。
- ・発表データ作成や提出方法の詳細については、後日ホームページでご案内します。

##### (2) ポスター質疑について 口頭発表のあとにポスター前で質疑があります。

- ・ポスター掲示スペースは90cm(横)×180cm(縦)を予定しています。
- ・場所は発表会場の入り口前の広間です。
- ・発表者は規定時間に自分のポスター前に待機して、質疑を受けてください。
- ・カテゴリーを担当した座長も規定時間内はポスター前で質疑に参加してください。
- ・ポスターの貼付時間や撤去時間は遵守していただきますようお願いいたします。
- ・時間などの詳細は後日ホームページや抄録集に掲載いたします。

#### 5：受付期間

演題申込受付期間 令和8年(2024年)2月10日(月)正午～3月31日(火)正午

#### 6：演題採否通知

申込期日までにご提出いただいた抄録をもとに、採否を決定いたします。演題採否の結果は、E-mailで令和8年(2026年)5月中旬までに通知させていただく予定です。

演題採否・プログラム割り・発表日時など決定に関しては実行委員会に一任していただきます。

#### 7：演題申込に関するお問い合わせ先（演題申込受付担当窓口）

第36回全国病児保育研究大会 in 弘前

演題受付事務局担当：ネバーランド社 ○○

〒790-0941 愛媛県松山市和泉南1-7-33

ネバーランド2F 089-960-0221(ご連絡はできるだけE-mailでお願いします)

E-mail：書き換え 永野先生お願いします。

## 事前登録・申込のご案内

### 【事前参加登録】 \*

事前参加登録は大会ホームページより行ってください。

#### (FAX・郵送・電話による登録受付は実施いたしません)

当日の受付の混雑防止やスムーズな入場のため、できるだけ事前参加登録をご利用ください。

### 「重要なご案内」

本年は「1 代表者 1 登録」となります。 (1 名の代表者が複数名の事前参加登録をおこなうことはできません)

参加者それぞれにご登録いただきます。なお同じメールアドレスで複数人数の登録はできませんので、メールアドレスをお持ちでない方は予め G-mail などを設定のうえ、参加登録をおこなってください。

※会員とは「施設会員」である施設に所属している方、もしくは個人会員の方を指します。

会員の方は参加登録の際「会員番号」をご記入いただきます。

ご自身の所属する施設の会員番号、もしくは個人会員番号を事前に確認しておくことをお勧めいたします。

### 【参加費】

参加区分	事前登録	当日登録
会 員 (医師・施設長)	15,000 円	17,000 円
会 員 (医師・施設長以外)	9,000 円	10,000 円
非会員 (医師・施設長)	18,000 円	20,000 円
非会員 (医師・施設長以外)	10,000 円	12,000 円
オンデマンドのみ	15,000円	18,000円
学生(大学院生を含む)(当日登録のみ) ※学生証の提示が必要です。 ※プラッシュアップセミナー／スペシャルインタレストセッション／倫理委員会セミナーは参加不可	—	5,000 円

※ 学生以外の参加費には手数料 500 円が含まれています。尚、手数料のご返金はいたしかねますので予めご了承ください。

※学生以外の参加費にはプログラム・抄録集代が含まれます。学生でプログラム・抄録集が必要な方は当日会場にてお買い求めください。プログラム・抄録集は1部2,000 円（税込）です。PDFをホームページからダウンロードするのは無料です。

※ 2 日間通しての参加費となります。

## ※ 登録手数料

事前登録・当日登録ともに手数料は必要となります。

尚、手数料のご返金はいたしかねますので予め御了承ください。

新型コロナウイルス感染拡大による大会規模の縮小があっても返金はありません。

## 【お申込受付期間】

### 大会事前参加登録 \*

事前申込が必要な定員制プログラム \*\* 懇親会申込 \*\*\* の受付期間は

令和8年（2026年）2月10日（月）正午～5月30日（金）正午 です。

（事前申込が必要な定員制プログラム \*\* は、大会事前参加登録を行った方のみ、  
お申込みいただけます。大会事前参加登録と同時のお申し込みをお勧めいたします）

## 【変更・取消】

ホームページ（登録画面）から変更・取消ができます。

締切日までは同じホームページ上で変更・追加・取消の操作を行っていただけます。

締切り後の変更・取消や操作方法がご不明な場合は E-mail で運営事務局までご連絡ください。

\* 締切日以降（5月 30 日（金）正午以降）の取消の場合、参加費・懇親会費の返金はいたしかねますのでご了承ください。

## 【お支払い方法】

1. 銀行振込

2. コンビニ支払い

3. オンラインクレジット決済

のいずれかをお選びいただけます。

事前登録お申込後、原則として 1 週間以内にお支払ください。

振込手数料、コンビニ決済手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。

なお、「最終の入金期限」は 6 月 7 日（火）です。期日をすぎて未入金の場合、すべての事前登録は無効となります。ご留意ください。

## 【事前申込が必要なプログラム】 \*\*

以下のプログラムは事前申込が必要になります。

研究大会の参加登録を行った上で大会ホームページよりお申し込みください。先着順、定員制ですのでお早めにお申し込みください。定員に達し次第、受付を終了いたします。

※同一プログラムへのお申込は 1 施設あたり 2 名様までとさせていただきます。

※一部に参加対象が限定されたプログラムがございます。

## ワークショップ、研修委員会・倫理委員会セミナー、スペシャルインタレストセッション一覧

※スペシャルインタレストセッションは「病児保育専門士」の方のみ参加可能です。

※各プログラムの実施時間は若干変動する場合もございます。

### 「お知らせ」

ワークショップを企画しました。ワークショップは参加型です。個人あるいはグループで一つのテーマに絞って結論を模索し、参加者と成果を共有します。参加者にとってきっと有意義な企画になると思いますので、ふるってご参加ください。各セクションの定員数に限りがあります。

ワークショップの企画に余裕があります。ワークショップを申し込みたい方は早急にご連絡下さい。締め切りは2月28日（土）です。

申し込みお問い合わせ口 [hirosaki36thbyouji@outlook.jp](mailto:hirosaki36thbyouji@outlook.jp)

### 要事前登録

ワークショップ 1		「保育看護記録で伝えたいこと・つなぎたいこと！」 —子ども・保護者・チームの関係を育む視点				
日時	7月20日（月・祝日）9：20～10：40					
定員	50人	対象	保育士・看護師・その他（医師以外の職種）			
担当	株式会社 ラ・ファミーユ 森田 勝美先生（看護師）					
概要	子ども一人ひとりの育ちと安全を支えるため、保育看護の現場では、記録の質と目的が重要性を増し、記録は保育看護の振り返りや連携の基盤と位置づけられる一方、表現方法や記述内容などが課題となっています。 ワークショップでは、記録の本来の意味・目的について学びを深め、ただ1日の様子を伝えるだけでなく、「子どもの権利を守り、保育看護の質を高める専門的ツール」となる記録へ転換する視点について理解し、参加者がそれぞれの現場で明日から役立てる記録の視点・スキルを持ち帰ることを目指します。					

## 要事前登録

ワークショップ2	「子どものお薬の飲ませ方について工夫しよう」		
日時	7月20日（月・祝日）9:0～10:40		
定員	50人	対象	限定なし
担当	薬剤師薬局つがる 平尾 航先生（薬剤師）		
概要	<p>子どもに薬を飲ませるとき、思うように進まず苦労した経験はありませんか。保育所や病児保育の現場では、薬の味や剤形だけでなく、子どもの発達段階、気持ちの揺れ、服薬に対する心理的抵抗、環境の変化、大人の声かけや対応など、様々な要因が服薬行動に影響します。実際、保育施設での与薬は、保育士にとって負担や不安を伴う業務であるとの報告があり、薬剤師との連携による支援の必要性が指摘されています。</p> <p>本ワークショップでは、まず子どもの行動を読み解くための基礎的な視点を、短い講義や参加型の形式を通して共有します。日々の保育の中で見られる反応をどのように理解し、どのような関わりが服薬の成功につながるのか、現場で使いやすい考え方を一緒に学びます。また、保護者からの聞き取りをもとに、日常的に行われている工夫や、つまずきやすいポイントについて参加者全員で考察し、保育室で活かせるヒントを整理します。</p> <p>さらに、飲ませにくい薬の扱い方や、身近な食品を用いた味・質感の調整について、体験を通して理解する時間も設けています。味の変化を実際に確かめることで、子どもにとっての“飲みやすさ”をより具体的にイメージでき、明日からの実践に直結する学びとなるでしょう。子どもの安心につながる“服薬支援”について、皆さんとともに深めていきたいと思います。</p>		

## 要事前登録

ワークショップ3	「ともに支える」をつくるには —保育士と看護師の「協働」を考える—		
日時	7月20日（月・祝日）10:50～12:20		
定員	40人	対象	看護師、保育士
担当	青森中央学院大学 斎藤 美紀子先生（教授）		
概要	<p>病児保育の現場では、看護師と保育士がそれぞれの専門性を持って子どもを支えています。けれども、判断や対応のずれ、情報の共有不足、「どこまでが自分の役割か」の曖昧さなどから、協働が難しいと感じる場面も多いのではないでしょうか。本ワークショップでは、「なぜ連携が必要なのか」をあらためて見つめ直し、参加者同士の実体験をもとに“つまずき”を言語化・共有していきます。話題提供とグループワークを通して、専門性を尊重し合いながら信頼関係を築くためのヒントを探りましょう。看護師の立場からのご参加を中心に、保育士のご参加も歓迎します。</p>		

## 要事前登録

ワークショップ4		「病児保育における救急初期対応のロールプレイ」				
日時	7月20日（月・祝日）11:00～12:30					
定員	20人	対象	限定なし 教育講演4の受講が条件になります			
担当	富山大学付属病院小児科 堀江貞志先生					
概要	<p>教育講演5「病児保育室で急変した子どもの初期対応」に引き続いて、ワークショップとして心肺蘇生等のハンズオンセッションを予定しています。</p> <p>小児の心肺蘇生法について正しい知識を持っているだけでなく、いざという時にそれを実行できるように備えておくことが重要です。そのためには実際の現場を想定した状況で正しい手技ができるように繰り返しトレーニングする必要があります。当日はマネキンを使用して実際に心肺蘇生法等を体験していただきます。</p> <p>皆さんのご参加をお待ちしております。</p>					

## 要事前登録

ワークショップ5		「ちょっと気になる子の病児保育室での保育看護」				
日時	7月20日（月・祝日）10:50～12:20					
定員	40人	対象	限定なし			
担当	病児保育室「きりん」スタッフ					
概要	<p>初めての保育者や慣れない場所などに戸惑う子どもに困ったことはありませんか？また日々の子どもたちと向き合い保育看護していく中で、（発達が）「この子ちょっと気になる」と感じる時はありますか？</p> <p>今回はそのような慣れない場所で一生懸命頑張る子どもたちに焦点を当て、皆さん気がなっている子どもについてグループごとに共有し、施設ごとの工夫やどのように保育看護していくべきか情報共有し学び合いたいと思います。</p>					

## 要事前登録

ワークショップ6		「未定」	
日時	7月20日（月・祝日）10：50～12：20		
定員	40人	対象	看護師
担当			
概要			

## 要事前登録

研修委員会セミナー		「ステップアップ研修」 病児保育専門士 認定更新業績単位 取得対象セミナー	
日時	7月19日（日）10：50～12：20		
定員	45人	対象	限定なし
担当	研修委員会委員長 森田勝美先生		
概要	ステップアップ研修では、病児保育の現場で実際に遭遇する症例を想定し、限られた情報の中から児をアセスメントし保育看護計画立案、保育看護の展開を検討します。 研修は、グループに分かれてワークショップ形式で議論を深め、自分とは異なる視点や考え方につれながら、気づきや学び深めることをねらいとしています。参加者それぞれの知識や経験を掛け合わせ、互いに補い合う場となることで、明日からの実践に活かせるアセスメントの視点や、保育看護展開の力を育む内容となります。		

## 要事前登録

倫理委員会セミナー		「”倫理的配慮“を身につける」	
日時	7月19日（日）13：30～15：30		
定員	50人	対象	限定なし 病児保育専門士は単位更新に必要
担当	倫理委員会委員長 横田俊一郎先生		
概要	<p>ページには病児保育専門士の倫理綱領が掲載されています。病児保育専門士として身につけるべき規範が示され、これに則って病児保育専門士は仕事をしなければなりません。</p> <p>倫理委員会は、様々な分野で「これは適切か？」「公正か？」といった倫理的な問題をチェックし、ガイドラインを作る組織です。特に、人々の尊厳や権利が守られるように配慮します。医療や病児保育の現場では、患者さん（子ども）の権利について、倫理的な観点から助言することが大切な役目です。</p> <p>本協議会でも、毎年たくさんの演題が発表されています。より良い病児保育を目指して症例報告やアンケート調査、新たな介入を行う研究などさまざまな演題がありますが、世間から内容を認めてもらうには倫理的な課題をクリアしていることが求められる時代になっています。</p>		

## 要事前登録

スペシャルインタレストセッション		「病児保育の質を高めるワークショップの営み方」	
日時	7月19日（日）10：30～12：00		
定員	50人	対象	病児保育専門士
担当	資格認定委員会 永野和子先生（保育士）		
概要	<p>病児保育専門士として活躍される皆さまを対象に、ワークショップ運営の基本を学ぶセッションを開催します。</p> <p>ワークショップの目的や種類、進行の工夫など、これからリーダーを務める機会が増える方も、すでに経験のある方も、安心して一步を踏み出せるよう、ワークショップ運営のポイントと一緒に学びましょう。</p>		

### 【懇親会】 \*\*\*

開催日時： 7月18日（日）18：30～20：30（予定）

会 場： アートホテルシティ弘前

参加費： 事前・当日ともに

医師・施設長	15,000 円
医師・施設長以外	10,000 円

定員制・先着順に受付けます（250人）。研究大会の参加登録を行った上で、大会ホームページよりお早めにお申込みください。定員に達し次第、受付を終了いたします。例年に比べて定員が少ないので、お早めに申し込みください。

6月7日(金)正午以降のお取消の場合は、返金いたしかねます。予め御了承ください。

会頭自ら、仲間たちとねぶた囃子や登山囃子を披露します。

篠笛のプロの演奏があります。



### 【抄録集・参加確認証等の発送】

6月下旬に「参加確認証」「定員制プログラム参加券」「懇親会参加券」「プログラム・抄録集」などを、お申込内容に即してご登録のご住所にお送りいたします。抄録集の発刊は1000部です。なくなり次第、PDFの電子データでご了解ください。尚、別途購入は2000円です。

### 【託児について】

設置を予定しています。ただし定員は6人です。早めにご予約ください。

半日（10時～13時、13時から16時）1000円です。

昼食やおやつは原価で提供します。

### 事前参加登録お申込・お問い合わせ先

第32回全国病児保育研究大会 in 弘前大会サポートデスク

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401

（株）ブランドウ・ジャパン内

TEL：03-5470-4401 ／ FAX：03-5470-4410

E-mail：hoiku2022@nta.co.jp

（ご連絡はできるだけE-mailでお願いします）



## 【プログラム概要（2026年1月現在）】

**基調講演** 2026年7月19日（日）10：00～10：50)

「子どもの育ちの保証 —病児保育が果たすべき役割—」

帆足 晓子（親と子どもの臨床支援センター）

私を病児保育の世界に導き、その道を灯らしくくれた恩師、帆足英一先生とともに病児保育の発展に尽くされた先生。

**特別講演1** (2026年7月19日（日）(11：00～11：50)

「親と子のアタッチメント（愛着）を考える—子どもの心の土台です—」

宮本 信也（筑波クリニック）

弘前市出身。筑波大学副学長をへて現職。小児精神神経学の第一人者で神経発達症など子どもの心の問題がご専門。

**特別講演2** (2026年7月19日（日）13：30～14：20)

「医療に関わる保育士のための保育原理」

谷川 弘治（日本医療保育学会理事長）

京都大学工学部出身 医療に携わる保育士の教育に尽力されている。帆足英一先生の創設された学会を引き継ぎ、発展させている。

**教育講演1** (2026年7月19日（日）16：00～16：50)

「これからの子どもの療育環境」

照井 君典（弘前大学医学部大学院小児科学教授）

弘前大学小児科の教授。大学病院に子ども専門の病棟を開設。慢性で難治性疾患の子どもの養育環境を考察する。

**教育講演2** (2026年7月19日（日）16：00～16：50)

「保育士のための子どもの神経発達症」

三上 珠希（国立青森病院小児科）

青森県津軽地区一円の子どもの神経発達症の診療や施設スタッフの教育に力を注いでいる。

**教育講演3** (2026年7月20日（月・祝）10：00～10：50)

「子どものアレルギー疾患」

北沢 博（東北医科大学小児科 アレルギーセンター副施設長）

東北地区のアレルギー疾患の一人者で、当院から多くの子を紹介している。

**教育講演 4** (2026 年 7 月 20 日 (月・祝) 11:00 ~ 12:20)

「病児保育室で急変した子どもの初期対応」

後半40分はワークショップ4として心肺蘇生等の実技をおこなう（定員制20人）

堀江 貞志（富山大学附属病院小児科）

JPLS（日本小児科学会小児診療初期対応コース）のインストラクター。私も先生から心停止が切迫している子どもの初期対応について多くの教えをいただいた。

**会頭指定シンポジウム** (2026 年 7 月 20 日 (月・祝) 11:00 ~ 12:30)

「医療的ケア児の対応 —医療的ケア児を保育園や病児保育で看るために—」

網塚 貴介（青森県小児在宅医療センター センター長）

新生児科医で、医療的ケア児に関する青森県の中核。医療的ケア児によりよい医療と環境を提供するための人材育成に長年取り組んでいる。本シンポジウムは名古屋大会の第二弾になる。

**感染症対策委員会セミナー** (2026 年 7 月 19 日 (日) 14:30 ~ 16:00)

「子どもの感染症」

津川 毅（札幌医大大学院小児科学教授）

歴史的に小児感染症学を教室のメインアルバイトとする札幌医大小児科の教授。最新の研究知見や新興感染症、予防接種や感染防御について解説する。

**安全対策委員会セミナー** (2026年 7 月 19 日 (日) 14:30 ~ 15:50)

「子どもの事故予防」

西田 佳史（東京科学大学工学院機械系教授）

東京大学大学院工学系研究科博士課程を修了。大学院で生活セントリックデザインラボ主宰し、日常生活システムの計算論、設計論の研究を行う。また、医療系・保育教育系研究者との共同研究を通して、子どもの保育教育環境における安全管理について工学的視点から積極的に発信・提言を行っている。

**保育園型委員会セミナー** (2026年 7 月 19 日 9:35 ~ 11:50)

「つなぐを繋ぐ」

これまで保育園型委員会は「寄り添い・連携・共有・まなざし・こころ・保育のカタチ」でセミナーを行ってきました。これらは、今まで子育て支援に関わる者から引き継ぎ、引き継いで来たものです。本大会テーマの「子どもの育ちの保障」の中には担当者の思いや、情熱、スキルなども含まれます。これまで引き継ぎ繋いできたものを、人が変わっても「これからもつないでいく」というねらいの元、参加者とグループ意見交換を行います。

あなたの「つないぎたいものは」何でしょうか。子どもとおとな、スタッフ同士、地域との関係、施設同士など、たくさんありますね。施設形態にとらわれず、病児病後児保育の情報共有、情報交換などの場として仲間と繋がり、聞きたいや、話したい、を実現させましょう。

### 市民公開講座（2022年7月19日（日）17：00～17：50）

#### 「縄文人の家族観と子育て」

岡田 康博（三内丸山遺跡センター長）

紀元前3000年前、縄文人はただのその日暮らしの狩猟・採集民ではなく、採集・漁労・狩猟に関して季節を感じ、長期間安定した暮らしをしていた。漁労・狩猟の道具を巧みに操り、貴重な栄養源となる植物の栽培まで行っていた。また、その行動範囲も想像を遥かに超えて遠隔地の貴重な資源を調達し、それを精巧に加工して他の集落へも拡散させていた。彼らの子育てや家族観はどうだったのだろうか。我々はもはや縄文時代に戻ることはできないが、せめて彼らの穏やかで自然と調和した生き方に思いを馳せ、現代人の自然環境破壊と終わりのない争いをわずかでも反省したい。

#### 研修委員会企画 オンデマンド配信のみ

基礎研修（小児医学）

基礎研修（保育）

基礎研修（看護）

基礎研修（保育看護）

#### その他

会長講演、会頭講演、行政説明、病児保育専門士更新説明会、調査研究委員会報告、施設長会議、支部長会議、一般演題、ランチョンセミナー、企業展示等

プログラムの詳細・各委員会の企画等、最新情報は随時ホームページを更新いたします。各プログラムの実施時間は若干変動する場合もございますので、最新情報はホームページをご確認ください。

## 会場までのアクセス・会場周辺図

### ●第36回全国病児保育研究大会会場

弘前文化センター

〒036-8356 青森県弘前市

下白銀町19-4

電話0172336571

### 交通案内図



Bee Quick ビーク  
アートホテル弘前シティ  
(懇親会会場)

## 主要都市からのアクセス

### 東京から

東北新幹線 3 時間 新青森 奥羽線乗り換え 45 分 弘前駅 合計 3 時間半

羽田空港 約1時間15分 青森空港 バス 1 時間 弘前駅前 合計 3 時間

往路（羽田 → 青森）

- 出発：07:15 → 到着：08:30（所要：約1時間15分）
- 出発：09:55 → 到着：11:10（約1時間15分）
- 出発：13:00 → 到着：14:15（約1時間15分）
- 出発：16:00 → 到着：17:15（約1時間15分）
- 出発：18:45 → 到着：20:05（約1時間20分）

復路（青森 → 羽田）

- 出発：07:40 → 到着：09:00（所要：約1時間20分）
- 出発：09:15 → 到着：10:35（約1時間20分）
- 出発：11:55 → 到着：13:20（約1時間25分）
- 出発：15:00 → 到着：16:25（約1時間25分）
- 出発：18:05 → 到着：19:30（約1時間25分）
- 出発：20:50 → 到着：22:15（約1時間25分）

### 大阪から

► 伊丹 → 青森（往路）

- 07:35 → 09:05 (Japan Airlines JL2151便)
- 09:00 → 10:45 (All Nippon Airways ANA1851便)
- 11:55 → 13:20 (JAL2153便)
- 14:10 → 15:55 (ANA1853便)
- 16:15 → 17:40 (JAL2157便)
- 18:30 → 20:15 (ANA1855便)

► 青森 → 伊丹（復路）

- 08:05 → 10:10 (ANA1852便)
- 09:40 → 11:15 (JAL2150便)
- 13:05 → 15:10 (ANA1854便)
- 13:55 → 15:35 (JAL2154便)
- 17:35 → 19:40 (ANA1856便)
- 18:25 → 20:10 (JAL2158便)

### 名古屋から

► 名古屋（小牧） → 青森（往路）

- 07:45 → 09:05 (JH361便／所要 約1時間20分)
- 10:55 → 12:15 (JH363便)
- 17:40 → 19:00 (JH367便)

► 青森 → 名古屋（小牧）（復路）

- 10:05 → 11:35 (例：JH362便)
- 13:00 → 14:30 (例：JH364便)
- 19:15 → 20:45 (例：JH368便)

札幌から

► 新千歳 → 青森（往路）

- 11:40 → 12:35 ANA 1898便
- 13:40 → 14:25 JAL 2805便
- 16:10 → 17:05 ANA 1900便
- 19:00 → 19:55 JAL 2809便

（所要時間はいずれもおおよそ45～55分程度）

► 青森 → 新千歳（復路）

- 11:15 → 12:10 ANA 1897便
- 11:30 → 12:20 JAL 2804便
- 15:05 → 15:55 JAL 2806便
- 16:25 → 17:20 ANA 1899便
- 20:30 → 21:15 JAL 2810便

福岡から 直行便はありません。

往路：昼頃までに到着ならば以下の便になります。

福岡 → 伊丹 → 青森

- 福岡 08:50 → 10:00 伊丹 (ANA3168便／IBX68便など)
- 伊丹 11:00 → 12:30 青森 (JAL2153便)

福岡 → 羽田 → 青森

- 福岡 07:00 → 08:30 羽田  
(例：SFJ40便 / ANA3840便など 07:00発→08:30着の便)
- 羽田 09:55 → 11:10 青森

復路：午後弘前を出発なら以下の便になります。13時の便については11時には会場を出る必要があります。

青森 → 伊丹 → 福岡（乗り継ぎ：伊丹経由）の例

- 青森 13:05 → 15:10 伊丹 (ANA 1854便)
- 伊丹 17:05 → 18:25 福岡 (ANA Wings または別便 — 目安時間)

→ 伊丹での乗り継ぎ時間：約1時間55分

青森 → 羽田 → 福岡（乗り継ぎ：羽田経由）の例

- 青森 15:?? → 16:40 羽田 (JAL便—例)
- 羽田 18:00 → 20:05 福岡 (JAL または別便)

→ 羽田での乗り継ぎ時間：約1時間20分

金沢、富山から

金沢、富山 北陸新幹線2時間 大宮 東北新幹線3時間 新青森 奥羽線45分 弘前

新潟から

新潟 上越新幹線 1時間30分 大宮 東北新幹線3時間 新青森 奥羽線45分 弘前

大会日程

**2026年7月20日（月）《2日目》**

名称	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
フロア	1階	2階	2階	1階	2階	2階
会場名	大ホール	小ホール	第3会議室	第1会議室	第5会議室	第6会議室
最大定員	552席	200席	100席	64席	24席	55席
予約時間	9:15-17:00	9:15-17:00	9:15-15:00	9:15-15:00	9:15-15:00	9:15-15:00
8:00						
9:00	9:15-9:25 次期会頭挨拶					
	9:30-9:50 資格認定委員会	9:20-10:10 資格授与式	9:30-10:50 一般演題7 食育・健康支援・ 与薬・あそび	9:20-10:40 ワークショップ1 保育看護記録で伝 えたいこと・繋ぎ たいこと 森田勝美先生	9:20-12:00 ワークショップ2 子どものお薬の飲 ませ方について工 夫しよう 平尾 航先生	9:20-10:40 ワークショップ2 子どものお薬の飲 ませ方について工 夫しよう 平尾 航先生
10:00	10:00-10:50 教育講演3 子どものアレル ギー疾患	10:20-11:10 一般演題8 その他	広域PTセミナー	10:50-12:20 ワークショップ3 “ともに支える”を つくるには 保育 士と看護師の協働 富山大学附属病院 堀江貞志先生	青森・弘前観光案 内	10:50-12:20 ワークショップ5 ちょっと気になる 子の病児保育での 保育看護 病児保育室「きり ん」
11:00	11:00-12:30 医療的ケア児の対応 一医療的ケア児を 保育園や病児保育 室で看るために一 パート2	11:20-12:10 一般演題予備	11:00-12:30 秋吉講演4 急変した子どもの 初期対応 富山大学附属病院 堀江貞志先生	12:20-12:50 ワークショップ4 病児保育における ポスター質疑応答 発表7-8 閉会挨拶		
12:00	青森県立中央病院 成育課網塚貴介先生					
13:00						



×毛；